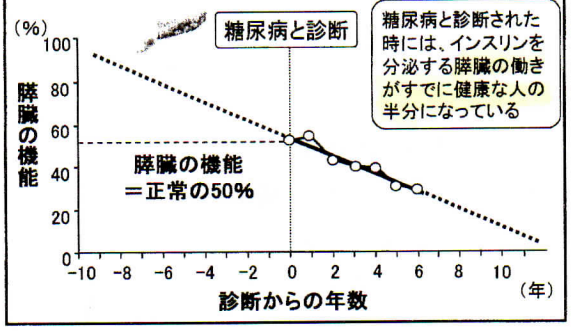
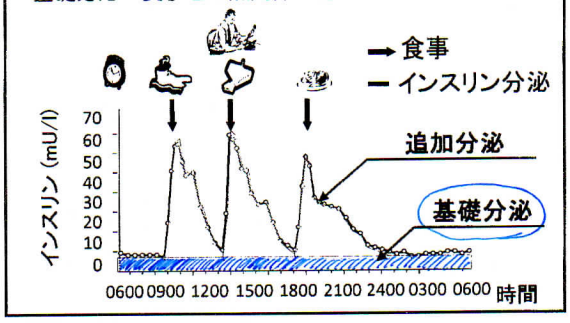
2型糖尿病は診断される前からすでに進行している



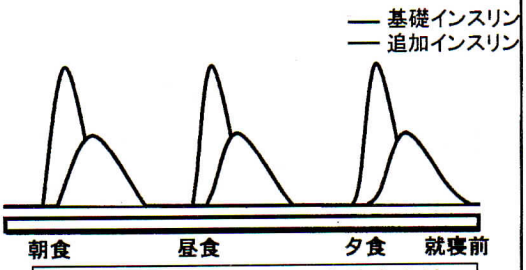
体内におけるインスリン分泌

追加分泌：食事の時に分泌されるインスリン
基礎分泌：食事とは無関係に分泌されるインスリン



◎ 夜に肝臓で糖がつくられている。
夜に糖が高い人は、夜のインスリン量を増やしてあげないといけない。

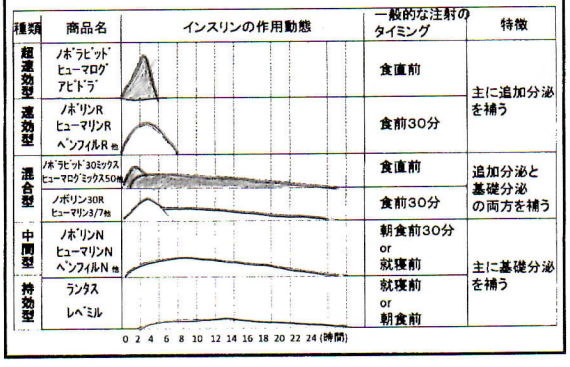
糖尿病患者のインスリン分泌のパターン



追加インスリン不足 ⇒ 食後高血糖

基礎インスリン不足 ⇒ 空腹時高血糖

インスリン製剤の種類

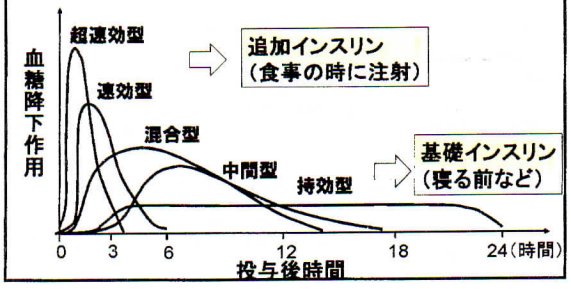


種類	商品名	インスリンの作用動態	一般的な注射のタイミング	特徴
超速効型	ノボラピッド ヒューマログ アピドラ		食直前	主に追加分泌を補う
速効型	ノボリンR ヒューマリンR ペンフィルR 他		食前30分	
混合型	ノボラピッド30ミックス ヒューマログミックス50他		食直前	追加分泌と基礎分泌の両方を補う
	ノボリン30R ヒューマリン3/7他		食前30分	
中間型	ノボリンN ヒューマリンN ペンフィルN 他		朝食前30分 or 就寝前	主に基礎分泌を補う
持効型	ランタス レベミル		就寝前 or 朝食前	

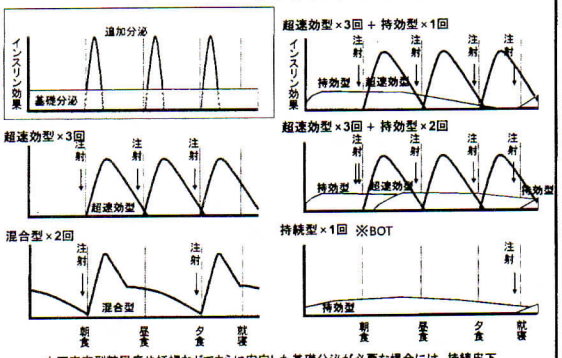
0 2 4 6 8 10 12 14 16 18 20 22 24 (時間)

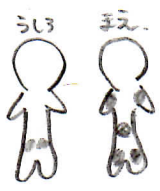
インスリン療法は・・・

不足したインスリンを適切なタイミングで十分量を補充する治療である



インスリン投与方法(例)



★不安定型糖尿病や妊婦などでさらに安定した基礎分泌が必要な場合には、持続皮下インスリン療法(CSII)を用いる。

◎ インスリンは皮下注射
おしり、おなか、手、もも
└自己注射。